

輝 SONODA SPORTS PRESS

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

学部・学科
人間健康学部 総合健康学科 人間教育学部 児童教育学科
人間看護学科 短期大学部 生活文化学科
食物栄養学科 幼児教育学科

お問い合わせ先 スポーツ振興センター
TEL 06-7507-1813 FAX 06-7507-1814
URL <http://www.sonoda-u.ac.jp/sports/index.html>
instagram sonodasp

テニス部 関西学生春季トーナメント 小池が快拳



ダブルス優勝の小池(右)・東谷組(関西学生テニス連盟提供)

テニスの2019年度関西学生春季トーナメントで小池颯紀(総合健康学科4年)がシングルスで初優勝を飾り、東谷和(児童教育学科2年)と組んだダブルスでも栄冠に輝いた。小池のダブルス優勝は大会3連覇。同ペアは海外ツアー大会で準優勝を果たすなど、飛躍している。

チュニジアでは準優勝

前年度から女子ダブルスで実績を重ねる小池・東谷組。前年度末チュニジアで行われた大会で準優勝を果たし、「外国人のスピードやパワーは強く簡単に勝てる試合は一度もありませんでしたが、準優勝出来たことは大きな自信になりました」と(東谷)と弾みをつけてシーズンに入った。

関西オープンシ



テニス神戸オープン石井(左)・西野

ダブルスも危なげなく勝ち上がり、決勝では第2セットに反撃を受けたものの、東谷とともに冷静なプレーで第3セットを奪って優勝。小池のダブルスは大会3連覇の快拳だった。小池は「シングルのタイトルを取れてうれしいです。ダブルス3連覇も自信になります。これを弾みに全日本学生選手権で単複とも優勝できるように頑張りたいと思います」とコメント。個人で挑むインカレ、チームで目指す全日本大学対抗王座決定試合の頂点へ、エースの自覚を背負って駆け上がる。

神戸オープンで石井・西野組

4月に行われた神戸オープンテニスの女子ダブルスで石井あづさ(総合健康学科4年)・西野さくら(同3年)組が決勝に進出。第1セットを逆転で奪うと、第2セットは6-3で勝ち取り、初優勝を果たした。

昨年の全日本大学対抗王座決定試合のダブルスを経験したことが成長の源に。西野は「初戦からタフな試合が続きましたが、昨年経験してきたことを生かし、終始明るくプレーすることができました。これから続く大会でも結果を残していきたいように頑張ります」と、さらなる飛躍を誓った。

テニス部TOPICS

ハワイ大と交流戦

テニス部が2019年1月31日、ハワイ大学との対抗戦を本学およびブルボンビーンズドーム(兵庫県三木市)で開催しました。ハワイ大学にとって、初の海外遠征となった今回の対抗戦は、本学テニス部が4-3でハワイ大学を破り勝利しました。



大会成績

◆TIF Magic Tours (チリマン)
▽女子ダブルス 準優勝 小池・東谷
◆神戸オープン2019
▽女子ダブルス
石井・西野(園田学園女子大)
▽準々決勝0-1 小西・甲南大・小嶋(天理学院)
▽準決勝0-1 多田(トッパンAOC)・渡邊(相模学院)
▽決勝0-1 大山(河内陸球倶楽部)・真鍋(TURKEY TENNIS)
◆関西学生春季トーナメント
▽女子シングルス
▽準々決勝 小池 0-2 藤原(姫路大)
▽準決勝 小池 0-2 鎌田(関西大)
▽決勝 小池 0-2 大野(関西大)
▽女子ダブルス
▽準々決勝 小池・東谷0-2 中谷・田中(甲南大)
▽準決勝 小池・東谷0-2 大塚・伊藤(同志社大)
▽決勝 小池・東谷0-1 中村・佃(関西大)

剣道部 関西女子学生剣道 菰口と池田がベスト8

剣道の個人戦で争われる第49回関西女子学生選手権は5月19日に行われ、本学剣道部は6人が出場。菰口未紗(児童教育学科3年)と池田仁美(総合健康学科1年)がベスト8に勝ち進み、6月29・30日に大阪府立体育館で行われる全日本女子学生選手権への出場を決めた。

主将の落合空(児童教育学科4年)は「チームでの勝利が必要です。お互いが信頼し合い、自分を信じて戦える芯の強さをつけるために、勝利のヒントを見つきたい」と話すとともに、「これまでずっと課題にしてきた『一本になる打突』を身につけなければ勝つことはできません。稽古で徹底していかなくてはならないと思います」と気を引き締める。

また、関西女子学生選手権に先立って行われた兵庫学生大会では、個人戦で山田悠帆里(総合健康学科2年)が準優勝し、団体戦では本学Aが栄冠に輝いた。

全日本女子学生選手権出場決める



池田が面を決めて、ベスト8に勝ち進んだ。しかし、2人とも8強の壁を突破できず、進撃が止まった。全員が全日本に出場する意気込みで挑んだが、それは叶わず、悔しい気持ちも募るが、3年生と1年生が全日本出場を決め、剣道部全員が喜びを分かち合った。団体戦の西日本女子学生大会は1勝止まり。不完全燃焼と言わざるを得ない。剣道部は、全日本女子学生優勝大会につながる9月の関西女子学生優勝大会に向け、チームでの勝利を渴望している。

「一本になる打突」を目指して

全日本学生選手権の出場権を懸けた関西女子学生選手権。全日本に進めるベスト16入りを目指して6人が挑んだ。3回戦に進んだのは4人で、3人が4回戦へ。これに勝てばベスト16。菰口と池田がそれぞれ快勝したが、3回戦を延長の末に粘り勝ちした奥平桜(総合健康学科3年)は、今度は延長で惜敗を喫した。5回戦では菰口がコテ、

大会成績

◆兵庫学生大会
〔個人戦〕 準優勝 山田
〔団体戦〕 優勝 園田学園女子大学A
(落合・上山・菰口・佐々木)
◆関西女子学生選手権大会
▽1回戦勝者 奥平、上山
▽2回戦勝者 奥平、上山、菰口、池田
▽3回戦勝者 奥平、菰口、池田
▽4回戦勝者 菰口、池田
▽5回戦 菰口 0-1 河野(同志社大)
池田 0-1 北本(近畿大)
▽準々決勝 菰口 0-1 対馬(立命大)
池田 0-1 安田(立命大)
◆西日本女子学生大会
園田学園女子大学
▽2回戦 0-1 吉備国際大
▽3回戦 0-1 大教大

ソフトボール部から第8回東アジアカップ(6月、中国)に臨む大学女子選抜に、投手・三原千空(総合健康学科3年)、野手の加藤亜実(同4年)、下山絵里(同3年)、白石望美(同4年)の4人が選出されました。

第8回 東アジアカップ 大学女子選抜

速報! 日本優勝!



加藤 亜実 (写真左) 下山 絵里 (写真右)
白石 望美 (写真中左) 三原 千空 (写真中右)

誇りを胸に 代表選出メンバー

女子U19代表



中川 唯

第13回女子U19ワールドカップ(8月・米国)に出場する日本女子U19代表に野手・中川唯(児童教育学科1年)が選ばれました。ソフトボール部の活躍が世界へも広がっています。

「代表選出はうれしさと代表としてのプレッシャーを感じました。さらにレベルアップして挑みたいです。常に声を出してチームを盛り上げ、足で相手をかき回したり、攻撃をつなげたりすることに徹したいと思います。そしてアメリカの3連覇を阻止して、日本の世界一に貢献できるように頑張ります」



ソフトボール部

2位

関西学生リーグ

2019年度の春季関西学生ソフトボールリーグ戦で、女子1部の本学ソフトボール部は6勝1敗で2位となり、連続リーグ制覇が「17季」でストップした。初戦の同志社大戦は5失点。攻撃で3得点をあげたが盛り返せなかった。チームの気持ちが引き締められ、2戦目以降は完封勝ちが4試合。接戦も制するなど粘り強さを見せたが、初戦の黒星が響いた。

しかし、西日本大学選手権(8月)の連覇、そして全日本大学女子選手権(8、9月)の「日本一奪還」へ向かって顔を上げなければならぬ。そのために「超攻撃型」というチームスローガンがある。

主将の加藤亜実(総合健康学科4年)は「練習の中で1球を、試合の1球だと全員が意識し、目的を明確にして練習に取り組んでいきたい」と話す。夏の頂



◆春季関西学生女子リーグ(1部)
園田学園女子大学

●	3-5	同志社大
○	7-0	神戸親和女大
○	8-0	立命館大
○	2-1	太成学院大
○	11-0	大阪大谷大
○	4-1	関西大
○	1-0	龍谷大

点へ、切磋琢磨と精進の日々が続く。

バドミントン部創部 インカレ出場目指す



2019年4月、バドミントン部が創部された。部員は1年生5人。文字通り「イチからのスタートです」(主将・濱尾真衣) 食物栄養学科1年)。

大きな目標はインカレ出場。今シーズンは関西学生リーグで4部昇格を目指す。少所帯だが、切磋琢磨するなかでチームワークを築き、先行する他大学チームに向かっていくメンタルとラリー力を磨いていく。

最終戦と入替戦に連勝
関西大学春季リーグ戦1部に参戦したバレーボール部は2部との入替戦を行い、3-2で関学大を退け、1部に踏みとどまった。上位を目指したリーグ戦

では敗戦が続く苦しい展開に。セットを奪っても勝ち切る事ができなかった。それでも最終戦では大体大に3-0でストレート勝ちを収め、意地を見せた。

2部2位の関学大との入替戦では粘られたが、最終セットで突き放した。

主将の永野桜空(総合健康学科4年)は「秋季リーグでは1部上位を目標とし、全員で気持ちをそろえ、お互いを信じて勝ちにいけます」と意気込んでいる。



バドミントン部

濱尾 真衣
食物栄養学科1年

陸上競技部

畑 ともよ
総合健康学科4年

剣道部

落合 空
児童教育学科4年

バスケットボール部

谷村 唯
児童教育学科4年

バレーボール部

永野 桜空
総合健康学科4年

テニス部

石井 あづさ
総合健康学科4年

ソフトボール部

加藤 亜実
総合健康学科4年

主将の決意

「今年から1年生5人で活動を始めました。少人数で大学としての実績もまだないため、イチからのスタートです。個人の技量を上げ、試合で上位に入れるよう、普段から試合を意識した練習ができるよう工夫しています。今シーズンは関西リーグ戦4部昇格が目標。」

「関西インカレは多数の自己ベストや全日本インカレ参加標準記録突破者が出て、チーム一丸となって戦い抜くことができました。9月の日本インカレも総力戦です。普段からチーム内、監督、コーチとのコミュニケーションを重視し、チームを引っ張っていけるように頑張ります」

「今年は全日本学生大会に出場し、上位を目指しています。そのために稽古も試合も全力で取り組んでいます。主将として、全員がやってきて良かったと思える剣道部を作り、剣道を楽しみたいと思います」

「春から積み重ねてきたことをすべてコートに出し、インカレ出場を目標に頑張ります。主将として自分に厳しく、責任を持ち、チームを引っ張っていききたい。そして、私たちのバスケットを見てくださる方々に楽しんでもらえるよう全力でプレーします」

「主将として、チームがどんな状態であっても前向き、笑顔を絶やさないことを心掛けています。また一人ひとりに声を掛け、思いきりバレーボールができる環境をつくりたいと思います。秋季リーグでは春季に成し遂げられなかった1部上位を目標とし、全員で勝ちにいけます」

「今年は持ち前の明るさ、個々のパワーを最大限使い、関西リーグと王座で頂点を狙っていきます。競り合う試合も多いと思いますが、チーム一丸で一心不乱に戦い抜き、一つひとつの大会で成長し、自信につなげていきたいと思っています」

「超攻撃型」というチームスローガンの下、全員が練習でも試合でも積極的に自分自身を發揮できるようにタフな人間になれるよう頑張ります。また、多くの方々からご支援ご声援をいただいています。感謝の気持ちを忘れず、夏の全日本インカレで日本一を奪還できるよう、日々一球一球を大切に練習に取り組んでいきます」



やり投・栗原千賀子

5月の関西学生対校(関西インカレ)で、陸上競技部は入賞17を数え、女子総合3位(トラック4位・フィールド2位・混成4位)と健闘した。

トラックでは400mリレーと1600mリレー、400mハードルの3種目で2位に入った。高校時代に個人種目でインターハイ

相次ぐ好記録

に出していない4人が組んだ400mリレーは、近藤亜友美(総合健康学科4年)西村百花(児童教育学科4年)姫野万里乃(総合健康学科2年)平田未来(総合健康学科3年)でつないで45秒51の好タイムをマーク。1600mリレーは、400mハードル2位の横田華恋(食物栄養学科3年)400m6位の安田明日翔(総合健康学科2年)後藤奈緒(児童教育学科3年)姫野のオーダーで、優勝まであと一歩の力走を見せた。



元気とチームワークの良さで快進撃したリレーメンバー

関西&西日本 学生陸上 女子 総合3位



三段跳 畑ともよ

フィールドではやり投の栗原千賀子(総合健康学科2年)が50m36で2位に。応援の声が大きくて、投げたやりがそれに乗っ

6月の日本学生個人選手権では400mハードルの横田と棒高跳の平田美和(児童教育学科2年)がそれぞれ6位に入賞した。6月の西日本学生対校選手権では三段跳の畑ともよ(総合健康学科4年)と400mハードルの横田が栄冠に輝くなど活躍し、女子総合3位の好成績を収めた。「全員、自己ベスト更新」

畑が西日本学生V

ていった」と喜んだ。



100m 平田未来



100m 西村百花



400mH 横田華恋



笑顔の演技を届けるために

チアリーディング部は部員4人ですが、第30回全日本選手権大会に出場しました。「私たちができる演技は何か」と考えながら、練習の成果を出すことができました。社会人アメリカンフットボールX2 WESTリーグのゴールデンファイターズの専属チアや地域イベントなどで「みんなで助け合いながら、チームで協力し笑顔で全力の演技をする」を目標に練習しています。



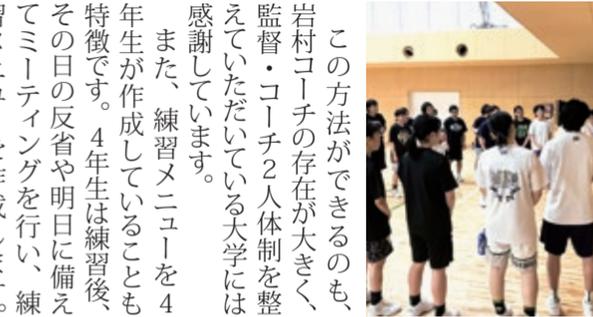
軟式野球部

1年生が入部し37人のチームとなりました。私は1部昇格という目標を目の前で達成できず悔しい思いをしてきました。今年のスローガンに「足跡(そくせき) どん底から這い上げられ」と掲げ、泥臭く、粘り強く、過程を大切にしながら這い上がっています。

全国ベスト4が目標 軟式野球部

1部へ這い上げられ ラクロス部

役割分担とやりがい 学生は部内において様々な



この方法ができるのも、岩村コーチの存在が大きく、監督・コーチ2人体制を整えていただいている大学には感謝しています。

バスケットボール部

We are the Best クラブ紹介

成長、喜び、大切な時間を共有したい

バスケットボール部は40人を超える部員全員で練習しています。人数の多い大学ではチームを分けて別々に練習する大学もあります。本学もそのような時期がありました。全員で練習する方法に変えました。

バスケットボール部はかけがえない学生時代、園田学園女子大学にはクラブ活動に熱中する学生たちがいます。そして各部の指揮官も、選手たちの力を最大限に引き出そうと日々情熱を注いでいます。このコーナーでは、目標に突き進むクラブを紹介していきます。

人生で大切な年代後半から二十代前半に学生は生活のほとんどを勉強とバスケットボールに費やします。その大切な時間を共有する人間として、彼女たちが園田学園女子大学・短期大学で過ごすことができて良かったと思えるような4年間2年間を共に作りたいたい日々思っており、その思いがすべての活動の原点にあります。

監督 畑岸邦枝 コーチ 岩村裕美



清元瀬里

全関西女子学生選手権で本学は3回戦から登場。龍谷大を88-73で退けて好発進した。4回戦は昨秋のリーグ戦で1部4位の奈良学園大と対戦。実績では相

リーグ戦上位校を越えていくために

手が格上だが、第1ピリオド(22-18)から終始主導権を握り、88-62で快勝し、ベスト8進出を決めた。

常に強気でリングに向かう姿勢を持つ

「全関西は新1年生が入った新チーム最初の公式戦で、8位は悔しい結果でした」と話す主将の谷村唯(児童教育学科4年)は、「秋のリーグ戦に向けて、日々の練習の意図を全員が理解して、常に強気でリングに向かう姿勢、シュート力を上げる、当たり負けしない



バスケットボール部

全関西女子学生

8強

バスケットボールの第40回全関西女子学生選手権記念大会は4~5月に行われ、本学バスケットボール部は2016年(5位)以来のベスト8に勝ち進んだ。



稲井朋香



西山美優

また、6月の西日本学生選手権は2回戦を粘り勝ちしたが、3回戦で敗退。課題を残した。

ソフトボール専用グラウンドを整備



従来、1塁側、3塁側に高さ15mの防球ネットを備えていましたが、ソフトボール部学生の技術や体力が向上し、ネットを超える打球が増えてきました。近隣住民の安全を第一に考え、このたび、防球ネットを高さ25mとし、新たに10mのものを外野側にも設置。本学ソフトボール部が一層活躍できるよう、より充実したソフトボール専用グラウンドとなりました。

25m防球ネット&外野芝生化

2019年度クラブ新入生

【ソフトボール部】

- 芦田 璃子(京都西山・京都)
石田 紅葉(帝京安積・福島)
門 里唱(九州文化学園・長崎)
工藤 真依(福岡大学附属若葉・福岡)
小林 綾実(とわの森三愛・北海道)
佐藤 杏美(三国・福井)
高重 映理(神村学園・鹿児島)
高橋ひより(桜宮・大阪)
中川 唯(とわの森三愛・北海道)
廣瀬 美由(高知丸の内・高知)
舟橋 京花(兵庫大学附属須磨ノ浦・兵庫)
森本なるか(高知丸の内・高知)
矢追 英姫(鳥取城北・鳥取)
石川 小暖(千葉経済大学附属・千葉)
重富 夕葉(香ヶ丘リベルテ・大阪)

【テニス部】

- 伊藤 七海(白鷺女子・神奈川)
櫻井 ゆき(芦屋大学附属・兵庫)
臺 涼華(福徳学院・大分)
宮崎 明莉(芦屋大学附属・兵庫)
小川 瑠衣(園田学園・兵庫)

- 赤井 琴音(園田学園・兵庫)

【バスケットボール部】

- 麻生 真衣(明豊・大分)
服部 渚(大阪桐蔭・大阪)
福島 梓(大阪薫英女学院・大阪)
前田 歩花(明豊・大分)
米山 由華(奈良文化・奈良)
神谷 寧音(那覇・沖縄)
大塚 千里(高知中央・高知)
草刈 美樹(鳥取城北・鳥取)
原口依央梨(中村学園女子・福岡)
松永 夏佳(高知中央・高知)
山下 果歩(神戸北・兵庫)
二之宮緑海(宝塚西・兵庫)
小西 千夏(摂津・大阪)

【バレーボール部】

- 近藤 朝日(開智・和歌山)
中尾 奈蘭(沼田・広島)
神谷 歩実(水上・兵庫)
村田 和奏(四條畷学園・大阪)
奥田 結愛(芦屋大学附属・兵庫)
山中 七花(夙川学院・兵庫)

【駅伝競走部】

- 上本 琴未(大阪成蹊女子・大阪)

- 橋本 未羽(市尼崎・兵庫)
藤野 葵(大阪桐蔭・大阪)
岡橋 歩美(大阪・大阪)
田邊 陽菜(八重山・沖縄)

【剣道部】

- 池田 仁美(日章学園・宮崎)
川端 紗季(安房・千葉)
橋 いづみ(東洋大学附属姫路・兵庫)
立神有弥子(甲子園学院・兵庫)
中丁 美乃(東洋大学附属姫路・兵庫)

【陸上競技部】

- 安藤 百夏(山田・大阪)
井上あず美(京都橘・京都)
園城寺祐穂(塔南・京都)
上月 亜美(神戸高塚・兵庫)
兒島 怜奈(大阪桐蔭・大阪)
齊藤 朋佳(園田学園・兵庫)
島田 幸夢(吹くやこの花・大阪)
杉村 美緒(摂津・大阪)
竹内 葵里(佐賀北・佐賀)
友松 日南(明石商業・明石)
永井 来海(尼崎双星・尼崎)
中西 彩梨(大阪・大阪)
平野さくら(枚方・大阪)
福林 春香(京都橘・京都)



谷村唯

体づくりといった課題に取り組んでいきます」と、総勢43人のチームに「練習でも全力プレー」を促す。

Table with 2 columns: Match/Event and Score/Result. Includes 40th All-Kansai Women's Student Basketball Championship and 68th All-West Japan Women's Student Basketball Championship.

第2回 そのだスポーツフェスティバル開催

強化クラブ学生による小中学生向けスポーツ教室
学生の経験値向上と地域への貢献を目的とし、昨年度より始めました「そのだスポーツフェスティバル」は、2019年2月23日(土)、尼崎市、伊丹市、宝塚市、西宮市、神戸市などの小中学生157名を迎え、無事終えることができました。



応援をよろしく お願いします! 2019年度後期大会日程

- テニス部: 全日本大学選手権(11月25日~12月1日)
ソフトボール部: 全日本大学選手権(8月2日~8月5日)
バスケットボール部: 関西女子学生リーグ戦(8月下旬~11月中旬)
バレーボール部: 全日本大学ビーチ選手権(8月6日~8日)
バドミントン部: 西日本学生選手権(8月29日~9月6日)